

第19回 三保連合同シンポジウム

テーマ 入退院支援の考え方

内科系学会社会保険連合
外科系学会社会保険委員会連合
看護系学会等社会保険連合（担当）

日時：2019年3月29日（金） 18：30～20：00

場所：聖路加国際大学 大村進・美枝子記念聖路加臨床学術センター3階 3302

申込：不要（直接会場にお越しください）

《会場ご案内》



聖路加国際大学 公衆衛生大学院 HP より <http://university.luke.ac.jp/sph/ja/about/maps.php>

【問い合わせ】 看護系学会等社会保険連合 事務局

〒150-0001 渋谷区神宮前 5-8-2 日本看護協会ビル 4階

TEL：03-3409-1569 E-mail：info@kanhoren.jp

第 19 回 三保連合同シンポジウムプログラム

テーマ 入退院支援の考え方

【シンポジウムのねらい】

平成 30 年度診療報酬改定において「入退院支援加算」が創設されました。これまでの退院支援加算が見直され、入院早期の段階から退院を見越した支援を充実させるために導入されました。一方、地域包括ケアシステムの充実には、医療機関と地域との連携が必要とされています。患者やその家族が、病院と在宅、医療と介護とを、よりスムーズに移行できるためには、入退院支援加算を効果的に活用した支援が求められています。

この度、入退院支援加算が創設された平成 30 年度診療報酬改定の際に、厚生労働省保険局医療課長であった迫井正深氏（現：厚生労働省大臣官房審議官）をお招きし、「入退院支援の考え方」と題したシンポジウムを企画いたしました。全体討論では、職種を超えた活発な意見交換を行い、これからの医療・介護において、患者にとって真に意義のある入退院支援を模索するための議論を行いたいと考えております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【プログラム】

1. 開会の挨拶（18：30 ～ 18：35）

井部 俊子（看保連 代表理事）

2. 基調講演（18：35～19：20）

「入退院支援の考え方」

講師：迫井 正深（厚生労働省 大臣官房審議官）

司会：井部 俊子（看保連代表理事）

3. パネルディスカッション（19：20～19：55）

パネラー：迫井正深（厚生労働省 大臣官房審議官）、小林弘祐（内保連理事長）
岩中督（外保連会長）、井部俊子（看保連代表理事）

4. 閉会の挨拶（19：55～20：00）

井部 俊子（看保連代表理事）